

職業能力開発促進法施行規則（昭和四十四年労働省令第二十四号）第六十六条第三項の規定によつて、令和六年度後期実施技能検定について、次のとおり公告する。

令和六年九月二日

広島県知事 湯 崎 英 彦

一 実施する検定職種及びその等級

技能検定を実施する職種及びその等級は、次のとおりである。

検定職種		作 業 名	実施する等級
さく井		ロータリー式さく井工事作業	一、二
金属溶解		鑄鉄溶解作業	一、二
鑄造		鑄鋼鑄物鑄造作業	一、二
			特
金属熱処理			特
機械加工		普通旋盤作業	三
			特
非接触除去加工			特
金型製作			特
金属プレス加工			特
工場板金		機械板金作業	一、二
		数値制御タレットパンチプレス板金作業	一、二
			特
めっき			特
ロープ加工		ロープ加工作業	一、二
仕上げ			特
機械検査		機械検査作業	一、二、三
			特
ダイカスト			特
電子回路接続		電子回路接続作業	単一
電子機器組立て		電子機器組立て作業	特
			三

菓子製造	パン製造	プラスチック成形	プリプレス	家具製作	和裁	紳士服製造	婦人子供服製造	冷凍空気調和機器施工	農業機械整備	建設機械整備	油圧装置調整	空気圧装置組立て	内燃機関組立て	光学機器製造	時計修理	自動販売機調整	プリント配線板製造	半導体製品製造	シーケンス制御	電気機器組立て		
洋菓子製造作業	射出成形作業	DTP作業	家具手加工作業	和服製作作業	婦人子供既製服縫製作業	冷凍空気調和機器施工作業	農業機械整備作業	油圧装置調整作業	空気圧装置組立て作業	量産形内燃機関組立て作業	時計修理作業	自動販売機調整作業	シーケンス制御作業	配電盤・制御盤組立て作業								
一、二	特	三	特	一、二	三	一、二、三	特	一、二	一、二、三	特	一、二	特	一、二	特	一、二、三	一、二	特	特	特	一、二、三	三	特

舞台機構調整	音響機構調整作業	一、二
塗装	鋼橋塗装作業	一、二
印章彫刻	木口彫刻作業	一、二
金属材料試験	組織試験作業	一、二
電気製図	配電盤・制御盤製図作業	一、二、三
		機械製図CAD作業
機械・プラント製図	機械製図手書き作業	一、二、三
		ガラス工事作業
ガラス施工	ガラス工事作業	一、二
バルコニー施工	金属製バルコニー工事作業	単一
自動ドア施工	自動ドア施工作業	一、二
カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工事作業	一、二
樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事作業	一、二
防水施工	改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業	一、二
	塩化ビニル系シート防水工事作業	一、二
	合成ゴム系シート防水工事作業	一、二
	アスファルト防水工事作業	一、二
	コンクリート圧送工事作業	一、二
	鉄筋組立て作業	一、二
鉄筋施工	鉄筋施工図作成作業	一、二
	型枠工事作業	一、二
配管	建築配管作業	一、二、三
型枠施工	プラント配管作業	一、二
	かわらぶき	かわらぶき作業
建築大工	大工工事作業	一、二、三
	和菓子製造作業	一、二

注 実施する等級の特、一、二、三及び単一は各々特級、一級、二級、三級及び単一等級を指す。

二 試験の方法

<p>(一級及び二級) 鋳造、ロープ加工、空気圧装置組立て、プリプレス、菓子製造、建築大工、かわらぶき、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、樹脂接着剤注入施工、自動ドア施工、電気製図、塗装 (三級) 機械加工、機械検査、電子機器組立て、プラスチック成形、建築大工、かわらぶき、電気製図 (単一等級) 電子回路接続</p>	<p>令和七年二月九日(日)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

(二) 実施場所
 協会から別に通知する。

四 手数料

1 実技試験

広島県手数料条例(平成十二年広島県条例第五号)に定める額

2 学科試験

三千百円

五 受検申請の手続

1 提出書類

- (一) 技能検定受検申請書(以下「申請書」という。)
- (二) 受検手数料振込金領収書(写し)
- (三) 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証明する書面(写し)
- (四) 運転免許証、健康保険被保険者証その他の受検者が本人であることを確認することができる書類(氏名及び生年月日が確認できるものに限る。)(写し)

なお、個人番号及び被保険者等記号・番号等にはマスクング(黒塗り等)を施すこと。

2 提出先

協会

〒七三〇―〇〇五二 広島市中区千田町三丁目七番四七号 広島県情報プラザ五階

電話(〇八二)二四五―四〇二〇

申請書を郵送等によって提出する場合は、書留郵便又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成十四年法律第九十九号)第二条第六項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第九項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第二項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるものとし、封筒の表に「技能検定受検申請書在中」と朱書すること。

3 受付期間

令和六年十月七日(月)から令和六年十月十八日(金)まで(土曜日、日曜日及び国

民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日を除く。）

4 免除資格を有する者の受検申請

実技試験及び学科試験の両方の免除を受ける資格がある者は、前記一に掲げる検定職種以外の職種についても受検申請ができる。

5 申請書用紙及び受検案内の交付

申請書の用紙及び受検案内は、協会で交付する。

なお、郵送等によって請求する場合は、封筒の表に「技能検定受検申請書請求」と朱書し、返信用として一部につき百八十円分の切手を同封すること。

六 手数料の納付方法

実技試験の手数料の額（前記四 1 に定めた額）と学科試験の手数料の額（二千百円）の合計額を銀行振込によって協会に納付すること。

なお、実技試験又は学科試験が免除される場合は、当該試験に係る手数料の納付は必要としない。

また、申請書を受け付けた後は、申請書を取り下げた場合又は試験を受けなかった場合でも手数料は返還しない。

七 合格者の発表等

1 合格者の発表

合格者の受検番号は、令和七年三月十四日（金）午前九時に、広島県のホームページに掲載する。

2 合格通知

合格者及び実技試験又は学科試験のいずれかに合格した者については、協会が令和七年三月十四日（金）に書面で通知する。

3 技能検定合格証書等の交付

特級、一級又は等級に区分しないで行う技能検定の合格者には厚生労働大臣名の、二級及び三級の技能検定の合格者には広島県知事名の合格証書を交付する。

また、この他、厚生労働大臣から、技能検定の合格者には合格した等級の技能士章が交付される。

八 その他

技能検定についての問合せは、広島県商工労働局職業能力開発課（〒七三〇―八五一―広島市中区基町一〇番五二号 電話（〇八二）五一三―三四三一（ダイヤルイン））又は協会に行うこと。